

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	1551-4
課題名	臨床検査技師教育のための血液・骨髄標本の院外研修会への貸出
研究期間	西暦 2011 年 4 月 1 日 ～ 2022 年 3 月 31 日
利用する情報、検体	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：検査結果、診断名など） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：） <input type="checkbox"/> 血液 <input checked="" type="checkbox"/> その他（血液標本、骨髄標本） ※以下の期間に収集した情報、検体が対象となります 西暦 2011 年 4 月 1 日 ～ 2022 年 3 月 31 日
研究の意義、目的	血液検査や骨髄検査では細胞の数や濃度を求める検査の他に、血液および骨髄液の塗抹標本を作成し顕微鏡を用いて細胞の形などを観察する“血球形態検査”を行います。この検査は、細胞の種類や形などから白血病などの血液疾患を見つけることができる重要な検査の一つです。通常は、医師または専門の教育を受けた臨床検査技師が行う検査ですが、細胞を見分ける技術を身につけることは簡単ではなく、多くの経験が必要となります。臨床衛生検査技師会や日本検査血液学会などの学会では標本を用いた研修会を行っており、臨床検査技師はこのような研修会に参加し学習することで検査技術の習得に努めています。本研究は、当院の患者様の貴重な標本を研修会の教材として使用させて頂くことにより、大学病院の役割の一つである教育活動の一環として、院内だけではなく地域の病院に所属する臨床検査技師のレベルアップを図ることを目的としています。
研究の方法	研修会を主催する各学会*から標本貸し出しの依頼を受けた場合、まず、検体 2 次利用の同意が得られていることを確認します。貸し出しを行う標本については、お名前などの個人が特定できる情報を削除し、代わりに貸出番号を付けて専用の台帳に貸出番号、研修会名、貸出期間（標本持ち出し日、使用予定日、返却予定日）などの必要事項を記録します。研修会では、標本とともに関連する検査結果や診断名などの診療情報を使用しますが、これらの診療情報からも個人を特定出来る情報は削除します。研修会には当院の職員（臨床検査技師）が必ず参加し、貸し出し期間中は、持ち出しから返却まで標本の管理を行います。 ※ 各学会とは、日本臨床衛生検査技師会、北海道臨床衛生検査技師会、日本検査血液学会、日本検査血液学会北海道支部会、他関連学会とします
個人情報について	利用する情報、検体からは、お名前や住所など、個人が特定できる情報は削除して取り扱いますので、個人情報が外部に漏えいすることはありません。研究成果発表（学会発表、学術論文への投稿）の際にも、個人が特定できる情報は利用しません。
問い合わせ等の窓口	所属：臨床検査・輸血部 氏名：友田 豊 電話番号：0166-69-3351